

木馬会会報 (第46号)

* フェブラリーS, 目黒記念特集 *



96/02/16

～木馬達の予想～

本誌 栄蔵の1番弟子 TP

最近競馬がつまらない。これは、以外と私の周りの人の共通意見である。なぜつまらないのか、その原因は次の3つだと思われる。

- ① スーパースターがいない
- ② 血統的面白さが無い。
- ③ 馬券が当たらない

①については確かにヒシアマゾンにスターといえるだろうが、外国産馬であるため天皇賞に出れないし、今春も海外遠征するよう国内のファンには物足りない。ブライアンはルドルフを超えられるかという視点で注目を集めていた馬で、昨秋の惨敗ぶりからただの強い馬というだけで興味は一気に半減以下になってしまった気がする。ヒシアケボノはやはり1400までの馬だし、トロットサンダーは地味な印象でスター性がない。マヤノトップガンは有馬が逃げ切り勝ちでまだ本当に強いのか確信が持てない。他はと見回してもGIを勝てそうな馬がいない。なにしろ現5歳馬がだらしない。タヤスツヨシはウイニングチケット化しているし、ジュニユインはもう二度とGIを勝てないだろう。サクラキャンドルも阪神牝馬特別で株を落とし、ダンスパートナーもGIを狙うというローテーションではない。ワンダーパフォームはもうこの世にいない。こういう状況なのでGII、GIIIというレース区分がむなしく、今の前哨戦がつまらなくおもえてしまう。

②もまた非常に大きな要因だろう。以前ならニホンピロウイナー産駒のヤマニンゼファアが天皇賞を制するか、メジロマックイーンが親子三代天皇賞制覇を成し遂げるか。アンバーシャダイ産駒メジロライアンはいつGIを勝つか。ハクタイセイ、ケリーバックのハイセイコー産駒旋風。ルドルフ産駒トウカイテイオーの凛とした美しさ。ところが今はどうだ。種牡馬に対する思い入れもないうちにやれトニービンだ、ブライアンズタイムだ、インデサイレンスだ。彼らの産駒がこれまた異常に強いから困ってしまう。スーパー Creekを出したノーアテンション。イナリワンを出したミルジョージなんかはたまに大物をだしたからこそ受け入れられたのだ。強いのはよいが、それ以上の思い入れができないのが今の馬たちなのだ。なんとも寂しいではないか。

③はまあ自分自身の問題だからいいか。

ということで、何ともしよんぼりと、粛々と競馬をしている私なのである。しかし、現4歳馬の中でただ1頭思い入れのできるスターが出現した！と思っている。去年の毎日王冠でへなが取り上げたサクラスピードオーがその馬である。京成杯を逃げ切ったときまでは、首が高く父ホクトオーに似ているなあ、皐月賞で人気になってこけるタイプじゃないの、というくらいにしか思っていなかったが、共同通信杯のパドックで見た馬体の素晴らしさにすっかり魅せられてしまったのである。こいつはただもんじゃないうぞ。レースっぷりも若さを随所に見せながら、それでも京成杯よりも折り合いに進境を見せて、フトシが引退した後横山典が乗るのかなあとも思い、とても目が離せないのである。へな君なか

なか目の付け所がいいぞ。是非とも強く、個性的で、外国産馬を蹴散らす活躍を見せてもらいたいものである。応援するぞ！

フェブラリーS

◎…ビッグショウリ ○…アドマイヤボサツ ▲…スピードアイリス

△…アイオーユー、ビワセイハ、デュークグランプリ

～予想者の屁理屈～

ここまでダート巧者が揃えば大穴は出ないだろう。実力馬同士で決まるはず。だが、なかなか配当はいいものが出るし、点数も絞れるのでお買得のレースといえよう。

目黒記念

◎…ユウセンショウ ○…オースミベスト ▲…サウンドバリエー

△…ダストウアー、マックスウインザー、ツジノライフ

～予想者の屁理屈～

今週の競馬ブックのPHOTOパドックのユウセンショウの馬体はすばらしいものがある。本格化したと見ていいだろう。オースミベストもしぶといノーザンテースト産駒。サウンドバリエーはゴーゴーゼットに似たイメージがあり、府中向き。ほぼこの3頭でいいだろう。ダストウアーは自己条件に回るかもしれないが、そちらでも狙い目。◎○▲の三点でもまずまずの倍率がつくはずで、こちらもお買得。

小倉大賞典

～予想者の屁理屈～

前走は完全な叩きレースであったメイショウレグナムが絶好のねらい目。登録頭数が多いので具体的な馬名はあげないが、人気薄で面白だろう。

先週は堅かったですねえ。4戦3勝でマイナスとは。基本的に中穴ねらいの私としてはつらい日でした。金杯後負け続けて現在の回収率60.0%。粛々とやっていきますか。

四国の井崎

へなさんおめでとうございます。イチ押しのサクラスピードオーが重賞2連覇！クラシックへの夢が広がりましたね。皐月賞へ直接向かうということで、SS4強との対決はおあずけ。現時点ではSS4強の方が上と見ています。私はサクラスピードオーのお父さんのサクラホクトオーには弥生賞、皐月賞ともドーンと勝負して不良馬場で泣かされボー然となった強烈なつらい思い出がありますが、先週はバッチリ本線の中でした。TMジャンボも期待通りの圧勝。天皇賞でのブライアンやトップガンとの対決が楽しみです。

木馬会がお休みの間は電子メールの会で毎週予想を出していたのでボケはありません。みなさんはいかがですか？最後にアドレスをのせておきます。この原稿もE-mailで送りたいものです。木馬会のどなたかアドレスをお持ちなら教えて下さい。

それと南関東公営の電話投票が当たって現在加入手続き中です。トゥィンクルダンディさんにほんの少し預けていた帝王賞用の資金は木馬会に寄付いたします。

さて今週は難解なハンデ戦。前置きが長かったので簡単にいきます。

フェブラリーS

◎ビッグショウリ ○アドマイヤボサツ ▲ヒカリルーファス

△…ホクトベガ、スターベスタロウ、ビワセイハ

別定GIIなら実力通り。ビッグショウリが大威張りだ。アドマイヤはやや距離不足か？今の東京はダートが深く時計がかかる。大井のヒカリルーファスでも通用するのではないか？前走の東京シティ杯は自信の本命で取れました。その時2着は忘年会でトゥィンクルダンディさんが東京大賞典で押していたホウエイコスモスでした。ホクトベガは目黒記念のサイン馬になって欲しいがダートは走る。問題は57kgの斤量だけ。スターベスタロウは人気がなければ怖い。あとは頭の字が「ビ」で一緒のビワセイハまで。

目黒記念

◎オースミベスト ○ウィンドフィールズ ▲サウンドバリアー

△…ユウセンショウ、ホクトベガ、チアズセンチュリー

アルゼンチン共和国杯だけ走ればオースミベストは抜けて強いはずだ。最近の好走でウィンドフィールズも本格化を伺わせるがどうもイマイチ勝つまでとは思えない。それより先週の京都記念からこちらに回ったサウンドバリアーの方が単まで狙える。鞍上は2500mに減法強い藤田だ。

ホクトベガの枠順に注目。昨年取り上げて中里予厩舎の同馬が出走せず日の目をみなかった中野駅から目黒駅までの中央線―山手線回りの理論が今年は使えそうでワクワクしている。新宿駅経由で8番目（中野→東中野→大久保→新宿→代々木→原宿→渋谷→恵比寿→目黒）が目黒駅馬となる。つまりホクトベガ馬番から左（向かって右ではなく左です：ホクトベガ自身の右側と考える）に8番目の目黒駅馬が劇走する。ちなみに左回りは27番目となります（東京乗換えの場合は右回りになってしまうので不採用）。どちらのレースに出てもサイン馬とはなるが、前日のフェブラリーHに出て連対しない場合がサイン馬の信頼度はグリーンとアップします。

小倉大賞典

◎サマニベッピン ○アラタマワンダー ▲ヤマニンフォックス

△…トウカイサイレンス、メイショウテゾロ、スプリングバンブー

これは混戦。今週最も難しいのではないか？上位に挙げた馬は7才、8才、9才、8才と年寄りばかりだけど、最近このレースは高齢馬の活躍が目立つ。小倉の土肥はうまい。56kgならサマニベッピンが大外一気の差し切りだ！今年1番の成長株と見ている安田康彦騎手。先週も東京で活躍してましたね。トウカイより人気があれば絶対アラタマをお勧めします。

志賀松 邦敏

四国電力（株）原子力部原子力安全課

高松市丸ノ内2番5号

Tel. (0878)21-5061 FAX. (0878)25-3012

E-mail 1: s08656@yonden.co.jp

2: QWK017340niftyserve.or.jp

皆さん静かに競馬をしているようで、今回も寄稿者が2名。次号は3月15日発行、中山記念特集の予定ですが、私が休暇を取るかも知れないので休刊の可能性もあります。ご了承ください。